

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
当社グループは2018年3月末をもって第122期を終了いたしましたので、ご挨拶を兼ねて決算概況についてご報告するとともに、当社のセグメント別内容などについても併せてご報告申し上げ、ご理解を賜りたいと存じます。



平成30年6月  
代表取締役社長 **ひろちあつし**  
**廣地厚**

## ..... CAN20計画第2フェーズをスピードを上げて強力に展開します .....

### ◆当期の経営成績の概況

当期のわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善が続き全体としては緩やかな回復基調にあるものの、欧米の政治的リスクやアジアの地政学的リスク、資源価格の上昇、新興国経済の不確実性、株式・為替市場の相場変動等により、先行き不透明な経営環境が続きました。このような状況において、当社グループでは、中期経営計画「CAN20計画第2フェーズ（2017年度～2020年度）」の初年度にあたり、『集中と結集』をキーコンセプトに、「セグメント別事業戦略」「新規事業創出」「経営基盤強化」の3つの基本戦略への取り組みを進めました。

機能ソリューション事業は、電子部品分野が事業のダウンサイジング化により減収となったもののプラスチックフィルム分野及びエンジニアリングプラスチックス分野が好調に推移しました。アパレル事業は、差異化商品の拡販と成長販路への取り組みを強化し堅調に推移しました。

### ◆今後の見通し

わが国経済は好調な企業業績に伴い前向きなマインドに底堅さが見られるものの、不安定な国際情勢や原材料価格の高騰等による景気の下振れ懸念もあり、個人消費が伸び悩むなか、人手不足に伴う人件費の上昇などもあり、当社グループを取り巻く経営環境は依然予断を許さない状況が継続すると予想されます。このような環境のなか、2018年度は中期経営計画「CAN20計画第2フェーズ」の2年目であり、設定

した目標の達成に向かって、事業ごとの重点戦略課題を明確化し、力強く活動を進めてまいります。

機能ソリューション事業では、プラスチックフィルム分野は業績が拡大しているなか、新市場・新商品の開発とグローバル生産体制を更に強化いたします。エンジニアリングプラスチックス分野は主力OA市場向け商品及び半導体関連等繊維技術活用製品の拡大を図ります。また、電子部品分野は社内のフィルム関連事業分野とのシナジー効果を追求し事業採算化を進めます。メディカル分野は更なる成長に向けて国内新販売体制をスタートするとともに新工場を含めたグローバルな事業運営体制の充実拡大を目指します。

アパレル事業では、インナーウェア分野はオリジナル差異化技術を強みに主力ブランドの更なる拡販を図るとともに成長チャネルであるEC・SPAルートと海外販売を強化してまいります。レグウェア分野は市場トレンドと消費者潜在ニーズを先取りした新市場・新商品の開発等を進めます。

ライフクリエイト事業では、不動産分野では新規賃貸事業の推進及び商業施設運営体制の見直しにより収益力の向上を図ります。スポーツクラブ分野においては、海外を含む多店舗展開による売上拡大と効率運営を目指します。

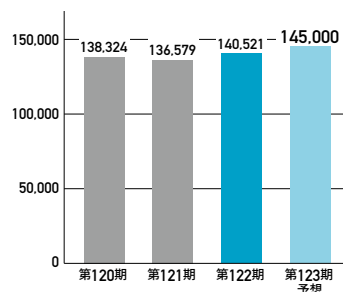
当社は、これらの取り組みを通じて、「お客さまに“こころよさ”をお届けしていく」という強い意志を持ち、社会に貢献する企業を目指してまいります。

株主の皆さまには、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 決算ハイライト

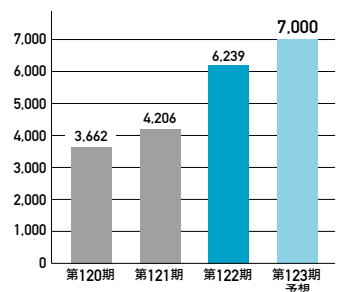
### ●売上高

単位：百万円



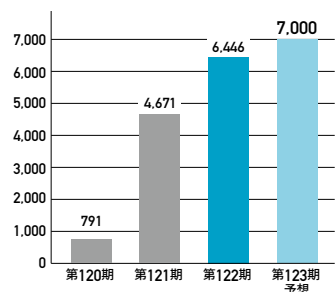
### ●営業利益

単位：百万円



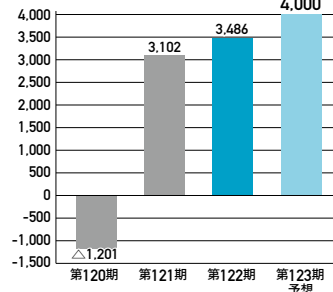
### ●経常利益

単位：百万円



### ●親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△)

単位：百万円



# 連結業績のご報告

## 連結貸借対照表(概要)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	平成29年3月31日現在	平成30年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	71,582	73,865
固定資産	97,877	97,408
有形固定資産	67,272	64,853
無形固定資産	1,916	1,817
投資その他資産	28,688	30,737
<b>資産合計</b>	<b>169,460</b>	<b>171,273</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	42,323	38,760
固定負債	18,783	20,383
<b>負債合計</b>	<b>61,106</b>	<b>59,143</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	108,462	108,579
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	13,998	13,942
利益剰余金	77,504	79,718
自己株式	△ 9,111	△ 11,152
その他の包括利益累計額合計	△ 309	2,561
新株予約権	287	281
非支配株主持分	△ 88	706
<b>純資産合計</b>	<b>108,353</b>	<b>112,129</b>
<b>負債および純資産合計</b>	<b>169,460</b>	<b>171,273</b>

### 流動資産 前年同期比22億円増加

受取手形及び売掛金24億円の増加、棚卸資産5億円の減少などにより、全体では22億円の増加になりました。

### 固定資産 前年同期比4億円減少

投資有価証券33億円の増加、繰延税金資産19億円の減少、機械装置及び車両運搬具10億円の減少、建物及び構築物9億円の減少などにより、全体では4億円の減少となりました。

### 流動負債 前年同期比35億円減少

コマーシャルペーパーを含む借入金15億円の減少、為替予約12億円の減少、未払法人税等9億円の減少などにより、全体では35億円の減少となりました。

### 固定負債 前年同期比15億円増加

長期借入金13億円の増加などにより、全体では15億円の増加となりました。

### 純資産 前年同期比37億円増加

親会社株主に帰属する当期純利益の計上34億円、その他有価証券評価差額金27億円の増加、自己株式の取得21億円、配当金の支払14億円などにより、全体では37億円の増加となりました。

### 売上高 前年同期比2.9%増加

機能ソリューション事業で6億円の増収、アパレル事業で23億円の増収、ライフクリエイト事業で9億円の増収となり、全体では39億円の増収となりました。

### 営業利益 前年同期比48.3%増加

機能ソリューション事業で19億円の増益、アパレル事業で1億円の増益、ライフクリエイト事業で微増となり、全体では20億円の増益となりました。

### 営業活動によるキャッシュ・フロー 前年同期比48億円減少

税金等調整前当期純利益52億円、減価償却費64億円、売上債権の増加24億円などにより90億円の収入となり、前年同期比48億円の減少となりました。

## 連結損益計算書(要約)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで	平成29年4月1日から平成30年3月31日まで
<b>売上高</b>	<b>136,579</b>	<b>140,521</b>
<b>売上総利益</b>	<b>37,502</b>	<b>39,972</b>
販売費及び一般管理費	33,295	33,733
<b>営業利益</b>	<b>4,206</b>	<b>6,239</b>
営業外損益	465	207
<b>経常利益</b>	<b>4,671</b>	<b>6,446</b>
特別損益	△ 1,356	△ 1,171
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>3,315</b>	<b>5,275</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>3,102</b>	<b>3,486</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで	平成29年4月1日から平成30年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,832	9,007
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,834	△ 5,954
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,116	△ 1,783
現金及び現金同等物に係る換算差額	227	△ 1,364
現金及び現金同等物の増減額	2,109	△ 94
連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	88	△ 98
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,670	9,477

## 株式の状況 (平成30年3月31日現在)

発行済株式総数 20,993,516株

◎自己株式(平成29年4月1日から平成30年3月31日)

取得 463千株(2,194百万円)

処分 33千株(152百万円)

期末 2,727千株(11,152百万円)

※自己株式には「グンゼグループ従業員持株会専用信託」による取得等を含んでおります。

◎単元株式数：100株

株主数 22,941名

金融商品取引業者 0.5%  
110名(34名)

金融機関 36.9%  
7,737名(48名)

個人・その他 36.2%  
7,595名(22,486名)

外国人 17.0%  
3,580名(171名)

一般法人 9.4%  
1,970名(202名)

(注)円グラフは発行済株式総数に対する保有割合

大株主一覧 (上位10名の株主)

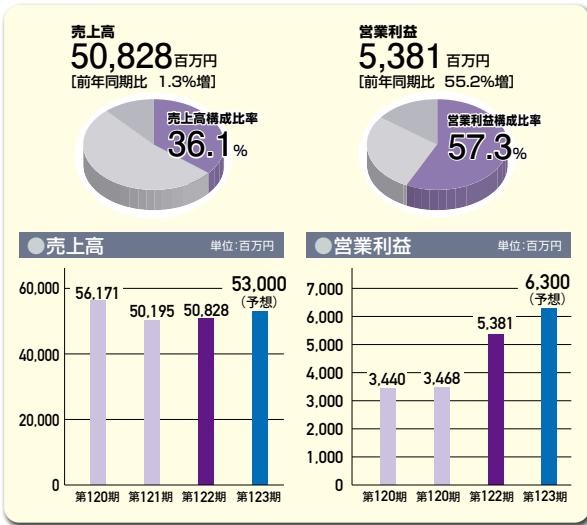
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,632	19.77
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	675	3.67
株式会社三菱東京UFJ銀行	613	3.34
株式会社京都銀行	587	3.20
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	448	2.44
資産管理サービス信託銀行株式会社	438	2.38
第一生命保険株式会社	414	2.25
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	306	1.67
グンゼグループ従業員持株会	305	1.66
株式会社GSIクレオス	271	1.48

(注)当社は、自己株式2,614千株(グンゼグループ従業員持株会専用信託の所有株数は除く)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

※平成29年6月23日開催の第121期定時株主総会の決議により、当社普通株式は、平成29年10月1日付で10株を1株に併合しております。

# セグメント状況

## 機能ソリューション事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

プラスチックフィルム分野は、主力のシュリンクフィルムが国内・輸出とも順調に推移し、軟包装や工業用途も好調でした。エンジニアリングプラスチック分野は、半導体市場向けの牽引とOA機器向けの復調

により好調に推移しました。メディカル分野は、中国向け縫合補強材及び新商品「デュラウエーブ」が好調でしたが、販売体制強化費用等の増加や主力得意先の在庫調整の影響を受けました。

〈プラスチックフィルム分野〉



ペットボトルに使われている平板収縮フィルム

〈エンジニアリングプラスチック分野〉



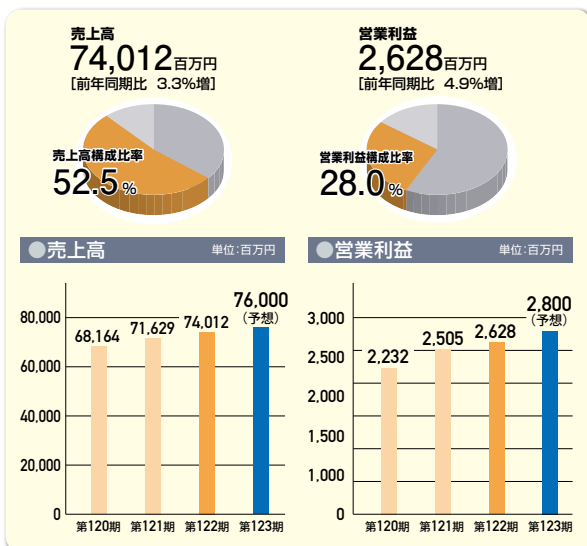
半導体製造用の超純水洗浄フィルター用資材

〈メディカル分野〉



手術後に体内に吸収される人工硬膜「デュラウエーブ」

## アパレル事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

インナーウェア分野は、「完全無縫製」を中心としたレディスインナーと「カットオフ」などの差異化商品ブランド及びスポーツカテゴリー商品並びにEC・SPA等の成長チャネル

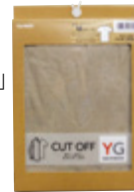
拡販により順調に推移しました。レッグウェア分野はタイツや防寒商品等は健闘したものの、年間物のストッキングとソックスが苦戦しました。

〈インナーウェア分野〉



“着こち”を追求したレディスインナー「KIREILABO」

切りっぱなしだからすっきり「YG カットオフ」



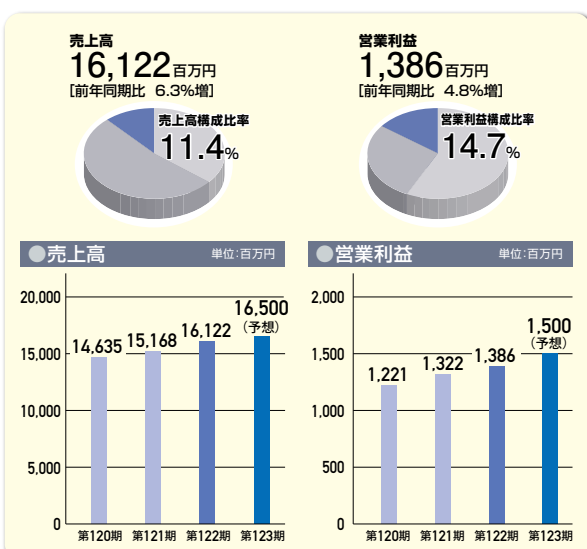
〈レッグウェア分野〉



リニューアルデビューしたストッキング「SABRINA」

GUNZE the shop ららぽーと和泉店

## ライフクリエイティブ事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

不動産関連分野では、ショッピングセンター事業は地域に密着した運営により堅調に推移し、また賃貸事業は新規物件が貢献しました。

スポーツクラブ分野は、既存店の活性化やコストダウン対策等により新店の初期費用影響を吸収しました。

〈不動産関連分野〉



グンゼタウンセンターつかしん(兵庫県 尼崎市)

夙川賃貸マンション(兵庫県 西宮市)

〈スポーツクラブ分野〉



ピエラ岸辺健都(グンゼスポーツクラブ)吹田健都店(入居予定)

グンゼスポーツクラブは全国21店舗で展開しています。



# 株主優待について

9月末／中間期のみ

保有株数と保有年数に応じた優待額を贈呈  
ご希望の商品と交換いただけます。

### 贈呈商品

贈呈商品の中から優待額の範囲内で好きな商品と交換

### 商品クーポン

GUNZE STORE  
(グンゼ公式通販)でお買物の際にご利用いただけるクーポンを発行

### 寄付

優待額1,000円を1口として、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンへ寄付

年2回  
毎年9月末・3月末

通販カタログ商品の

**30%  
割引優待**

※カタログはイメージです



※2017年度 セーブ・ザ・チルドレンへの寄付金額は、1,025,000円でした。

保有株数	株式保有年数		
	3年未満	3年以上5年未満	5年以上
100～299株	2,000円相当	3,000円相当	4,000円相当
300株以上	4,000円相当	6,000円相当	8,000円相当

## 取締役、監査役、執行役員、主な連結子会社 (平成30年6月26日現在)

### 取締役、監査役

代表取締役社長兼社長執行役員  
代表取締役兼常務執行役員 経営戦略部長  
取締役(社外)  
取締役(社外)  
取締役兼執行役員 人事総務部長  
取締役兼執行役員 繊維資材事業部長  
取締役兼執行役員 エンブラ事業部長  
取締役兼執行役員 アパレルカンパニー一長  
取締役兼執行役員 技術開発部長  
取締役兼執行役員 研究開発部長  
取締役兼執行役員 財務経理部長  
監査役(常勤)  
監査役(社外)  
監査役(社外)  
監査役

廣地 厚  
佐口 敏康  
白井 文  
中井 洋恵  
赤瀬 康宏  
岡 修也  
木村 克彦  
高尾 茂樹  
阿武 克也  
及川 克彦  
熊田 誠  
水沼 洋  
井上 圭吾  
鈴鹿 良夫  
溝口 克彦

### 執行役員

取締役を兼務するもの以外の執行役員は以下の通りです。

常務執行役員 グンゼ開発(株)代表取締役社長  
執行役員 メディカル事業部長、QOL研究所長  
執行役員 アパレルカンパニーインナーウエア事業本部長  
執行役員 アパレルカンパニー次長  
執行役員 プラスチックカンパニー一長  
執行役員 メカトロ事業部長

古川 知己  
森田真一郎  
荒木 敬太  
中野 努  
岡 高広  
佐保 一成

### 主な連結子会社

(国内)	(海外)
福島プラスチック(株)	Gunze Plastics&Engineering Corporation of America (米国)
グンゼ包装システム(株)	上海郡是新塑材有限公司 (中国)
グンゼ高分子(株)	Gunze Electronics U.S.A. Corp. (米国)
東北グンゼ(株)	Guan Zhi Holdings Ltd. (香港)
九州グンゼ(株)	山東冠世針織有限公司 (中国)
グンゼ物流(株)	Gunze(Vietnam)Co.,Ltd. (ベトナム)
(株)ジーンズ・カジュアルダン	上海郡是通虹纖維有限公司 (中国)
グンゼ開発(株)	P.T. Gunze Indonesia (インドネシア)
(株)つかしんタウンクリエイト	
グンゼスポーツ(株)	
グンゼグリーン(株)	

## 会社の概況 (平成30年3月31日現在)

社名 グンゼ株式会社  
設立年月日 明治29年8月10日  
資本金 26,071百万円  
従業員 1,757名(単体) 6,754名(連結)  
本店 京都府綾部市青野町膳所1番地  
大阪本社 大阪市北区梅田二丁目5番25号  
(ハービスOSAKAオフィスタワー)  
TEL(06)6348-1313  
東京支社 東京都中央区日本橋二丁目10番4号  
TEL(03)3276-8710

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 6月下旬  
株主総会・期末配当金基準日 3月31日  
公告方法 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
上場取引所 東京(第1部)  
証券コード 3002  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
同連絡先 〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
TEL: 0120-094-777(通話料無料)